



秋津小学校の「働き方改革」の取組紹介

秋津小学校では、日課の工夫からはじまる「働き方改革」に取り組まれています。令和5年度に大幅に日課を変更されたことにより、こどもと教職員双方にとってよい効果もたらされているようです。先生方の反応と共に紹介します。

【取組1】日課の工夫

- ・午前中5時間授業（1コマ40分）
- ・午後に学力充実タイム（25分）
- ・下校時刻（15:55 ⇒ 15:15）

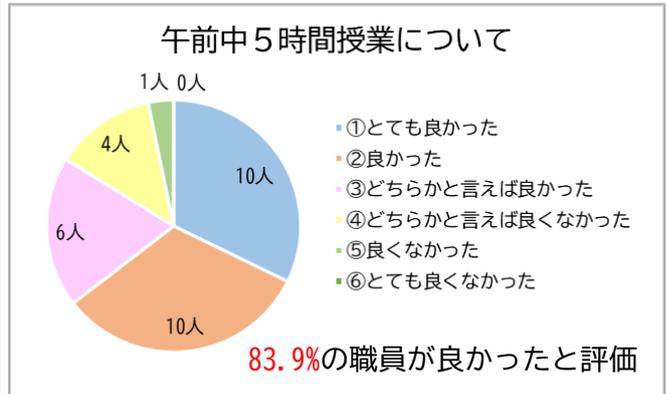
【取組2】勤務時間の割り振りの工夫

- ・勤務開始時刻の見直し
- ・休憩時間の見直し

【取組3】繰り上げ繰り下げ勤務の積極的活用

- ・ワークライフバランスの向上を目的とした繰り上げ、繰り下げ（30分・60分前後又は90分後）勤務の活用

職員アンケート調査より（R5実施）



取組の効果

- ・正規の勤務時間外の在校等時間の減少



- ・放課後の時間にゆとりが出て、話し合いや教材研究の時間が取れるようになった。
- ・40分の午前中5時間授業で、こどもが集中して学習に取り組んでいる。
- ・2コマ続きの授業が組みやすい。
- ・40分で授業内容を再考することが授業改善につながっている。



秋津小学校の先生方へインタビュー



太良木 香江
校長

まずは、やってみることが大事だと思います。やってみることで、『メリット』『デメリット』が明らかになってきます。また、学校全体として「やってみようかな」という前向きな姿勢になっていることがありがたいです。

取組を進めるにあたって、先生方の勤務の実態を分析したりアンケートを取ったりして公表しています。賛成・反対どちらの意見も大事にしながらか対話をする中で、納得感を得ていくことが大切だと思います。

また教頭としては、先生方が働き方を自分でコントロールしていることを実感してもらえるよう、体制づくりに努めています。



前田 浩志
教頭

休憩時間の設定について

教職員の勤務時間の割り振りは、学校ごとに設定されています。熊本市内の小中学校では『昼休み30分・放課後15分』の設定が多いようですが、放課後に多めの休憩時間を設定したり、日課に合わせ曜日によって時間を変えたりするなどの工夫があります。

設定パターンを掲載しておりますので、見直しに向けて参考にしてください。

【休憩時間設定のパターン】

- ・昼休みに30分、放課後に15分
- ・昼休みに25分、放課後に20分
- ・昼休みに20分、放課後に25分
- ・昼休みに15分、放課後に30分
- ・業間に15分、昼休みに30分
- ・業間に10分、放課後に35分

